

# 南国病院広報誌

第33号 2017年7月31日発行



# つくし



日本医療機能評価機構認定病院  
初回認定 2011年8月5日  
3rdG: Ver.1.1 更新認定  
主たる機能: 慢性期病院  
副機能: 精神科病院

## ■発行元■

南国市大涌甲 1479-3  
医療法人つくし会 南国病院  
Tel (代) 088-864-3137  
Fax 088-863-3070  
<http://www.nankoku-hp.or.jp>



## 南国病院での勤務にあたって

副院長 速瀬 啓純

7月より常勤医師として着任にいたしました内科の速瀬です。4月から非常勤医師として、月・金の午前の外来診療を行ってきましたので、違和感なく日々の診療に入れています。病院は初春の陽射しのような穏やかさがあり、働きやすい印象です。

以前より「 何時かは南国病院で 」と声を掛け続けて下さった中澤宏之院長に感謝申し上げます。

南国病院への着任にあたって、私が抱えている考えが二つあります。私は三十年近く、南国市に居住されている患者さんを中心に診療を続けてきました。当院での勤務にあたって約400名の方々が一緒に来て下さいました。本当に有難いことです。この方々と、当院で新たに私が診療させていただくことになった方たちを、診療を通じて一緒に時を重ねて行って内科医師としての職歴を全うすることが一つの願いです。

二つ目は、当院に対する意識の変化をもたらすことに役立ちたいということです。当院は、神経内科・精神科・内科という診療の柱があるにも関わらず、南国病院は精神科の病院であるという意識が根強く残っているところがあります。地道に診療を続けながら、当院ではきちんとした内科診療を行っていますという印象を定着させたいと考えています。

以上の二つが私の抱負とでも言うべきことですが、これからのことはコ・メディカルとの支え合いがあって初めて可能になります。聖徳太子の「和を以て<sup>とうと</sup>貴しとなす」の気持ちで、日々の職務を行っていきます。



ご存知の方も多いと思いますが、私の実家は約300年続いている浄土真宗・本願寺派の<sup>まっ</sup>末寺で、私は十四代目の住職でもあります。檀家の数が70軒余りの小さなお寺なので、何とか医師との二足のわらじでやっていけています。ただ、葬儀などの突然の法要のために約二ヶ月に1回の半日足らず休診となることがあり、その際はもう一人の内科の麻植啓輔医師に診療をお願いすることもありますので、ご了承をいただければと思います。